



# 7月の新着絵本



7月 13日(土) 貸し出し開始

ひまわり	荒井 真紀
美しい細密画で、ヒマワリの一生を描いた絵本。種から根がのび、芽がでて、葉をつけ、ぐんぐんと背丈をのぼし、つぼみをつけ、大きな花が咲き、そしてまた種ができるまでを、丁寧に描いている。	
アノゴたいそう	うさやま みやこ / 作 みうら あや / 絵
みぎ おいて、ひだり おいて、うえ おいて、した おいて…。水の中でゆらゆらと泳ぐ千ノアノゴたち。みんなでたいそうしているよ。ユーモラスな動きに思わず笑いがこぼれます。	
ちゃまのおざぶとん	かねこ まき
おしりを支えるのが仕事のおざぶとん。けられてもジャンプされても、だまって、じっと支えます。でも、お父さんがおならをして……。縁の下のちからもちのおざぶとんのお話。	
セミくんいよいよこんやです	工藤 ハコ
地中でくらすセミくんにある日、一本の電話がかかってきました。「ええ、そうです、いよいよ今夜です」おやおやいったい何があるのかな。セミの幼虫の羽化を描く楽しい絵本。	
のげやまくとくま	星羊社
ある日、のげやまくとあーくんは、迷子のくまのぬいぐるみを見つけました。持ち主のえいちゃんに抱きしめてほしいと泣きじゃくるくま。えいちゃんの家を探すため、のげやまくんたちは横浜の街を駆けめぐります。	